

SHODAIリカレントTV

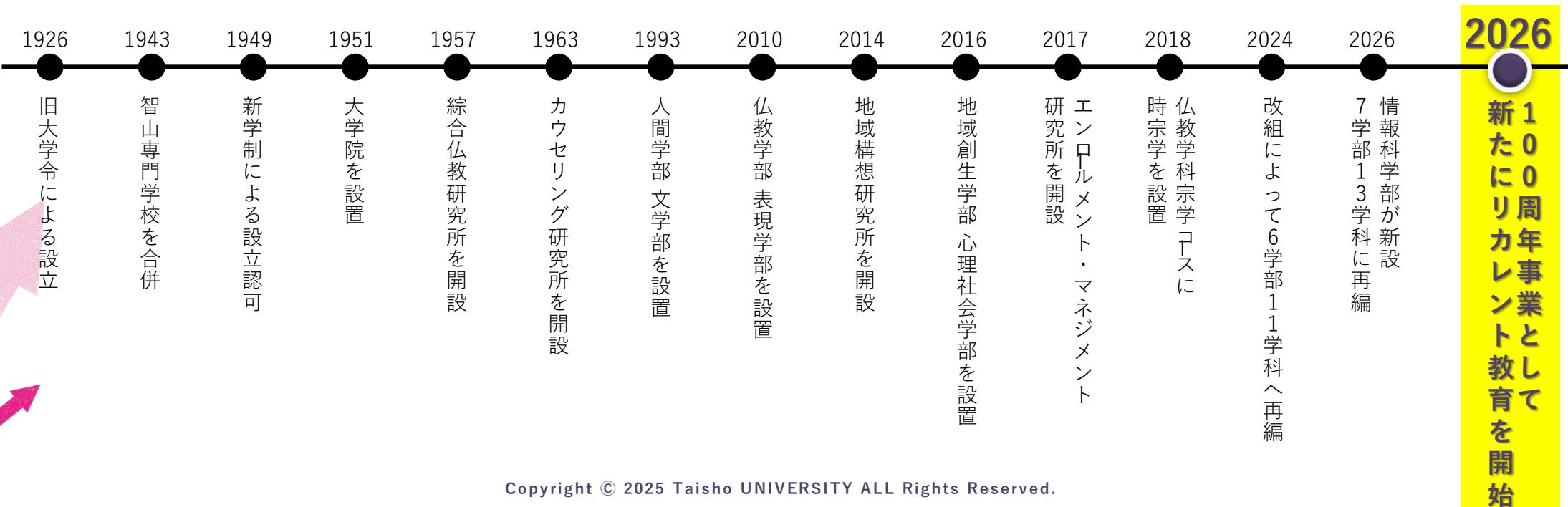
概要資料

＜寺院関係者様向け＞

大正大学の100周年事業として、

寺学自習の構想をもとに、 リカレント教育を開始します

佛教精神を根幹に据える大正大学は、
人生100年時代にふさわしい「リカレント教育（回帰型学習）」を通じて、
お寺をはじめとする地域の拠点が、
人と人とを結び直す学びの場となることを願っています。
現代におけるお寺の役割は、単に祈りの場にとどまらず、
地域の孤立や社会課題に寄り添う存在へと広がりを見せつつあります。
私たちは、そうしたご寺院の皆さんと共に、
「つながる学び」を支える新たな仕組みを、これから築いてまいります。



建学の理念である

「**智慧と慈悲**の実践」に基づき
皆様のWell-Being実現を目指します

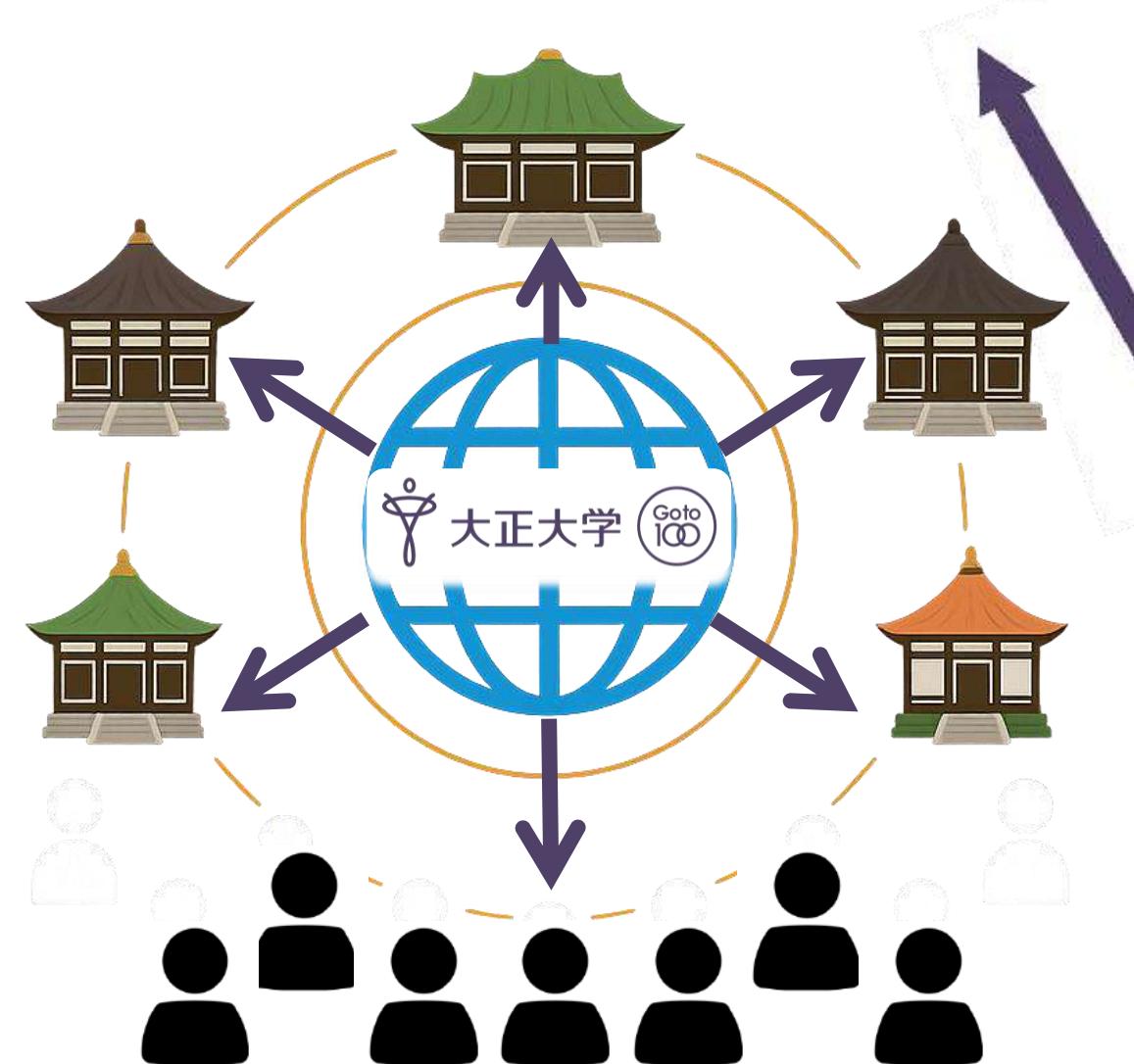
(ウェルビーイング)

Well-Beingとは、

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念です。

大学やお寺を、学びのハブとして、「Well-Being」をモットーに、本学のアカデミックな内容を盛り込んだプログラムを提供します。

あらゆる人々が豊かに、
そして幸せに暮らすための学びの場を作るだけではなく、
寺院を学びのネットワークで繋ぎ、寺院と地域の持続的発展を支えます。



2026年5月上旬開始

SHODAIリカレントTV

shodai recurrent tv

大正大学が
本プログラムの運営事務局として
学習プログラムを提供します。

「Well-Being」を理念に、
すべての人々の心が豊かで、
幸せな生活を送るためのコンテンツを提供します

大正大学の特色を生かしたコンテンツを
実践も通じて学んでいただけます

1

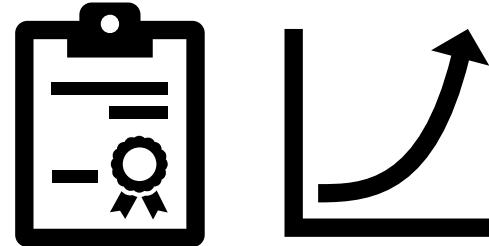
大学の専門性や、
地域と連携した講座



長年にわたり培ってきた知見を基盤に、地域と連携し、本学ならではの特色あるコンテンツを提供します。大学の専門性と、現場とのつながりを生かした学びをご体験ください。

2

学びを促進する
学習管理システム

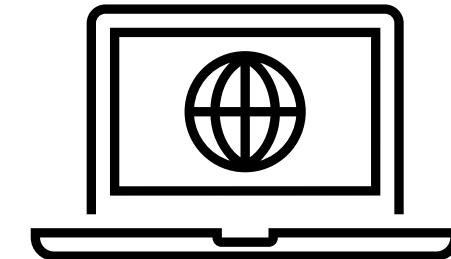


日々の学びを継続的に支援するためには、学習管理システム（LMS）を導入しています。今後は、修了証明や学びの可視化を可能にする「オープンバッジ※機能」を導入予定です。

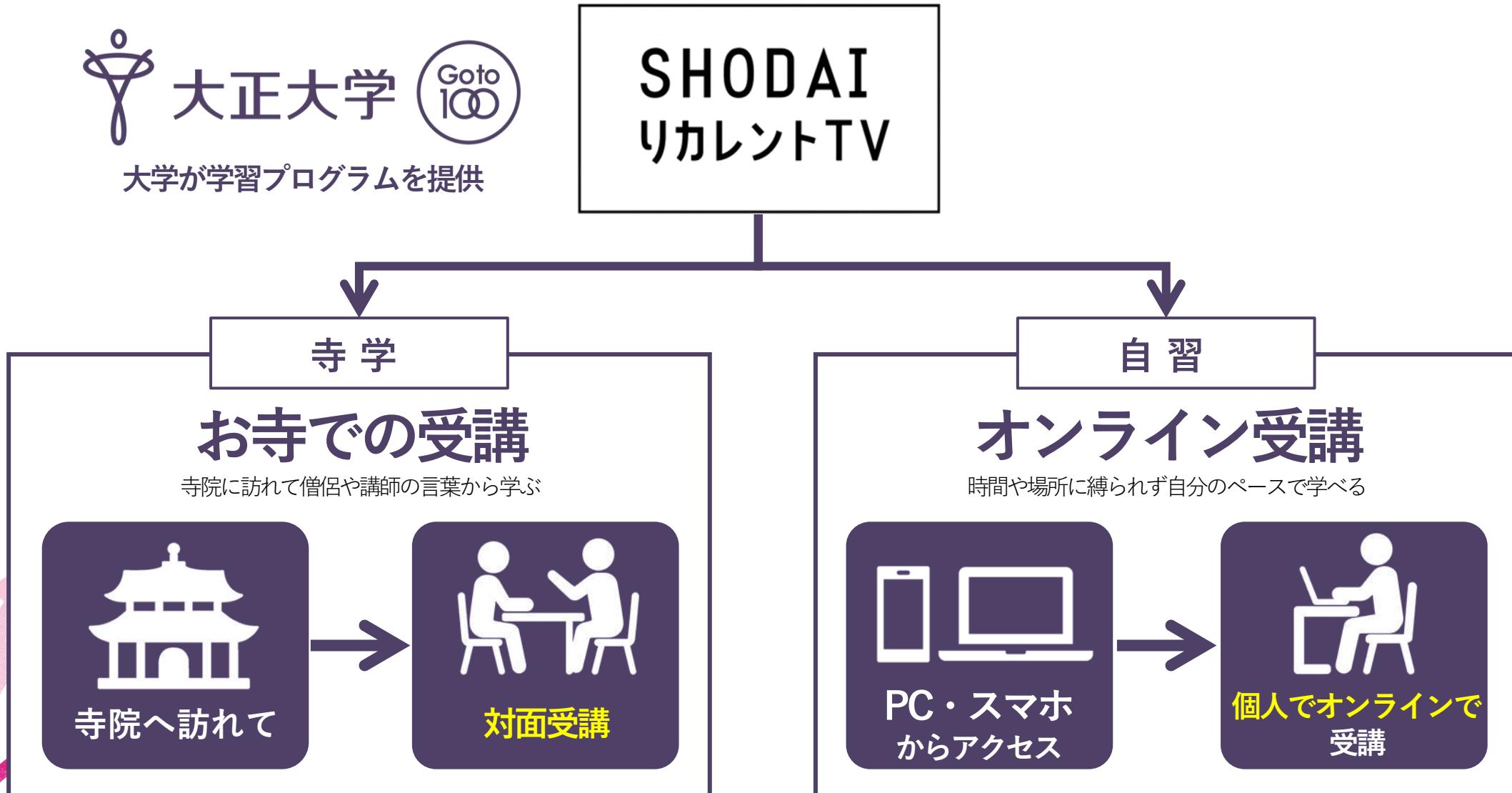
※学習やスキルをデジタルで証明するデジタルバッジ

3

いつでも、どこでも
受講可能



ご自宅でも、通勤中でも、スマホやタブレット、PCがあれば、いつでもどこでもご受講いただけます。ご自身のペースで、無理なく学びを続けていただけます。



寺学とは、お寺に集まって、お寺で**共**に学ぶこと

お寺を学びのハブとして寺院と地域をつなぎ、寺院と地域の持続的発展を支えます。
あらゆる人々が心を豊かに、そして**幸せに暮らすための学びの場**＝学びのコミュニケーションを構築します

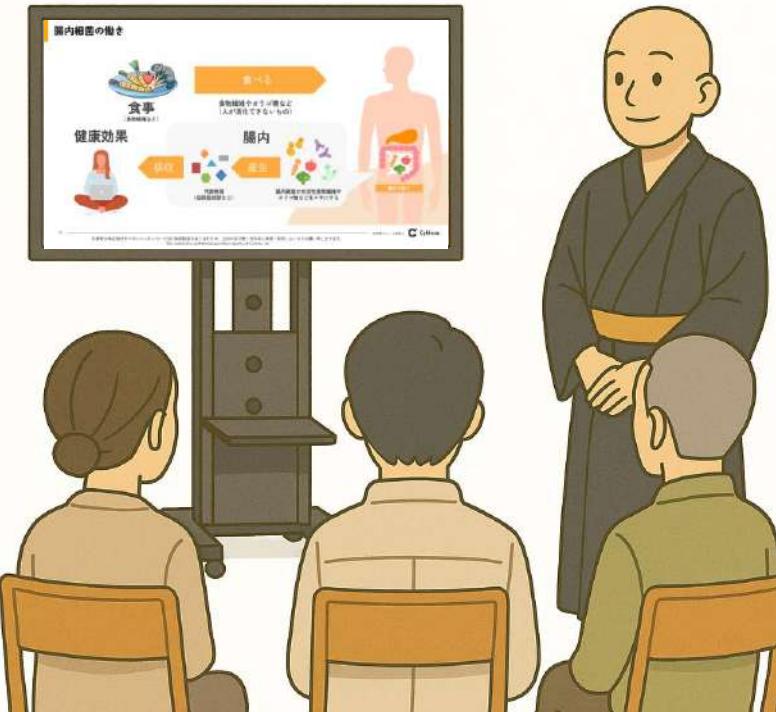
①寺学専用のコンテンツをご提供

お寺に参加者が集まって視聴するための専用コンテンツをご提供いたします

②寺学のためのツールをサポート

お寺に参加者を集め、講座を開講するための動画放映用のモニターを貸与いたします

<寺学のイメージ>



寺院運営に必要な 知識と実務が学べる講座です

現代の寺院には、信仰に加えて、
さまざまな実務的な知識や工夫が必要とされる時代が訪
れています。
そのような寺院関係者のための実践的な講座も展開予定
です

大正大学と、各分野の専門講師による、
わかりやすい映像講座を提供します。

デジタル活用と 現代対応



デジタルが苦手な方にもやさ
しい入門講座をはじめ、
オンライン配信やSNS運用等、
寺院に必要な現代的スキルを
段階的に学べます。

寺院経営と マネジメント



檀家制度や会計、
墓地管理、寄付金対応等、
寺院運営の実務を体系的に
学べます。

地域社会との関わり



地域福祉、防災、教育連携から
まちづくりまで。
社会とつながる寺院の実践例と
ノウハウを学べます。

デジタル活用と 現代対応



基本編

応用編

本講座では、デジタルが苦手な方にもやさしい基礎講座をはじめ、
オンライン配信やSNS運用等、寺院に必要な現代的スキルを段階的に学べます。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1.なぜ僧侶にIT知識が必要なのか | 11.住職の壁を乗り越える - 世代間対話の技術 |
| 2.コンピュータとインターネットの基礎 | 12. SWOT分析で寺院の現状を客観視する |
| 3.情報倫理 - 檀家情報と著作権を守る僧侶の責任 | 13.情報社会における人のつながりの変化 |
| 4.情報セキュリティの基本 | 14.マーケティングとビジネス戦略 |
| 5.実践的セキュリティ対策 | 15.お寺の日常業務をデジタルで楽にする |
| 6.データベースとデータ管理 | 16.理想的なお寺のIT化とは？ |
| 7.普通のお寺にもウェブサイトが必要な理由 | 17.僧侶に必要最低限のITリテラシーは？ |
| 8.ウェブサイト制作の基礎知識 | 18.檀家データの管理をどうするか？ |
| 9.基本的なWebサイトの構成と必要コンテンツ | 19.インターネットに出さないほうがよい寺院情報は？ |
| 10.システム選択と投資判断 | 20.お寺の広報活動の未来予想図 |

- | | | |
|---------------------------|--------------------|--------------------------|
| 1.デジタルマーケティングの基礎 | 6. AI・機械学習の基礎知識 | 11.そもそもAIって何？ |
| 2.LINE公式アカウントでコミュニケーション革命 | 7. 生成AI活用の実践 - 基礎編 | 12.最近話題の生成AIって何？ |
| 3.SNS戦略とプラットフォーム活用 | 8. 生成AI活用の実践 - 応用編 | 13.生成AIを使ってみよう |
| 4.効果的なWebコンテンツ作成とSEO戦略 | 9. AI時代の情報発信戦略 | 14.生成AI活用アイデア |
| 5.動画・音声技術とメディア活用 | 10.未来技術とデジタル社会 | 15. AIの危険性・AI時代の情報倫理と将来像 |

寺院経営とマネジメント



本講座では、檀家制度や会計、墓地管理、寄付金対応等、寺院運営の実務を体系的に学べます。

基礎理解

1. 檀家制度の歴史と現代的意義
2. 墓地・納骨堂の管理と運営基礎
3. 年間行事スケジュールとその意味
4. 寺院の収支構造を理解する
5. 寺院の基本帳簿と会計のしくみ
6. 奉納・寄付金の扱いと透明性
7. 境内整備と設備投資の優先順位
8. お布施の考え方と説明の工夫
9. 寺院の組織と役割分担の基本
10. 家族経営の留意点と継承準備

実践スキル

1. 檀家台帳管理と情報の見える化
2. 墓地販売の説明トーク術と契約の流れ
3. 行事の段取りと人の巻き込み方
4. 会計ソフトを使った収支管理の実践
5. リスクマネジメントと寺院保険の基礎
6. クレーム対応・相談窓口のあり方
7. 寄付金を活かす事業運営とは？
8. 役員会・信徒総会の進め方
9. 寺院の運営に必要な各種法規
10. 経営視点で考える「檀家離れ」への対応策

プロフェッショナル力

1. 檀家コミュニティの再構築と多世代対応
2. 墓じまい・樹木葬・合同墓の制度設計
3. 年間行事の価値を伝えるストーリーテリング
4. 寺院を拠点とした小規模事業の立ち上げ
5. 地域と連携した運営モデルの実例
6. 永代供養と新たな信頼の形
7. 経営的視点で寺院資産を守る
8. 家族内承継と世代交代のマネジメント
9. 寺院と地域金融機関の付き合い方
10. 将来像を描く「寺院ビジョン」の策定方法

地域社会との 関わり



本講座では、地域福祉、防災、教育連携からまちづくりまで、
社会とつながる寺院の実践例とノウハウを学べます。

地域とつながる

1. お寺と地域社会：昔と今の役割の変化
2. 地域における寺院の信頼と期待
3. お寺を拠点にした居場所づくりの考え方
4. 子どもと高齢者を迎える寺子屋の基本
5. 地域行事との連携方法（盆踊り・祭り・清掃など）
6. 災害時の寺院：避難所としての役割を知る
7. 地域住民と対話する力を育てる（傾聴と共感）
8. 多世代・多文化共生を支える寺院の視点
9. NPOや町内会との関係づくりの基本
10. 寺報・掲示板・チラシの作り方と情報発信の基礎

地域活動の企画

1. 地域に開かれた講座・ワークショップの設計法
2. 子ども食堂・フードパントリーの寺院実践例
3. 介護・看取り・死生観に関わる地域支援の始め方
4. お寺と学校の連携：道徳・命の授業のつくり方
5. 防災拠点としての備えと情報発信の工夫
6. 地域イベントの共催・協働：行政との関係構築
7. 高齢者の生きがい支援としての「終活講座」
8. 観光資源としての寺院活用と課題
9. 地域福祉とお寺：見守り活動・訪問活動のすすめ
10. 社会課題に向き合う寺院の姿勢と行動原則

地域とともに歩む 寺院像の構築

1. 地域とともにビジョンを描く寺院経営
2. 市民団体とのパートナーシップ構築法
3. 持続可能な寺子屋活動の運営モデル
4. お寺発・まちづくりプロジェクトの立ち上げ方
5. 地域資源としての寺院ブランディング戦略
6. 孤立・貧困・精神的不安への宗教的アプローチ
7. 地域共生社会における宗教の役割とは
8. 地域×教育×寺院：探究学習・キャリア支援連携
9. 地域全体を「ひとつの檀家」として捉える発想
10. 次世代に伝える「地域とともにある寺」のあり方



科目名	<h2>デジタル活用と現代対応</h2> <p>～なぜ僧侶にIT知識が必要なのか～</p>
講師	<p>小路 竜嗣 大正大学 地域構想研究所 客員研究員 長野県塩尻市 浄土宗善立寺副住職</p>
内容	<p>基礎編では、檀家情報の守り方や詐欺被害防止など僧侶が直面するリスク対応から、ウェブサイト制作・情報発信の基本、世代間のデジタル対話術まで幅広く扱い、日常業務を安心・効率的に進める力を身につけます。</p> <p>応用編では、LINE公式アカウントやSNS戦略、動画や生成AI活用など実務で役立つ最前線の知識を学び、寺院が時代に即した発信や檀信徒との新しいつながりを築けるようになります。</p>
構成	<p>全35回 基礎編：全20回 応用編：全15回</p>

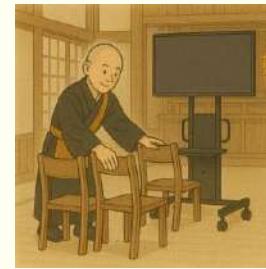
1 イベントを告知

モニターの設置や椅子・座布団などを配置



2 会場を設営

参加者を募り開催日時や内容、当日の集合場所などを告知



3 Wi-Fi環境確認

寺院の電源やネット環境(Wi-Fi環境)、会場の空調環境など確認



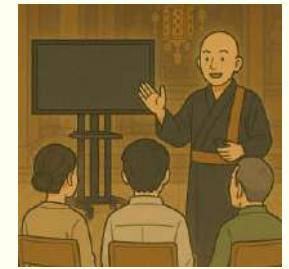
4 参加者をお出迎え

告知した日時、集合場所にて参加者の迎え入れを行う



5 開講のご挨拶・内容案内

開講のご挨拶および講座内容を参加者の前で挨拶と進行を行う



6 講座の動画の放映

モニターを使って「SHODAIリカレントTV」のサイトより講座の動画を放映



7 ご住職によるお話

講座の内容を交えてご住職より受講者に対してお話いただきます



8 締めのご挨拶

締めのご挨拶として参加の御礼とお寺の紹介や次回の告知などご案内



● モニター貸与の概要

※2025年11月10日時点の内容であり、モニター貸与の内容は予告なく変更となる場合があります

内容	下記のお申込み条件を満たす方に対して、寺学の実施を目的とした動画を放映するためのモニターを貸与いたします
お申込上限数	先着50台(ヶ寺)
対象者	本学OB・OG (大正大学宗派 ^{*1} の寺院関係者に限る)
お申込開始	2026年5月上旬(予定)
お申込条件	<ul style="list-style-type: none">・「SHODAIリカレントTV」に加入・Wi-Fi環境が整備されておりモニターを使用して講座を開講できる寺院・ノートPCより動画を出力できること・年間4回寺院で寺学を開講する
お申込方法	会報誌やホームページ上でのご案内を予定
ご確認事項	<ul style="list-style-type: none">・ディスプレイおよびスタンドの重量をご確認の上、設置場所の耐久性をご確認ください・本学が提供するモニターやケーブルによる申込者の建物や設備を損傷において、本学は一切の責任を負いません・本学が提供する機器やサービスの使用による電気代や水道光熱費などの諸経費は申込者のご負担となります・開講当日参加者へのご案内や映像の放映などの司会進行をお願いします

*1: 天台宗、真言宗豊山派、真言宗智山派、浄土宗、時宗

● モニター貸与の概要

※2025年11月10日時点の内容であり、モニター貸与の内容は予告なく変更となる場合があります

型	50インチ
サイズ	重さ約22kg・高さ195cm×幅110cm×奥行55cm(外寸)
ご提供備品	スタンド、HDMIケーブル(3m)、延長ケーブル(5m)
サポート内容	<ul style="list-style-type: none">配送時の開封から設置、設定まで現地担当者が対応3年間保証付き(故障時の修理対応)専用サポート窓口あり(専用オペレーターが対応)現地での修理対応 (部品交換など修理を現地の専門担当者が対応)

＜ディスプレイ画像＞



※実際と異なる場合もございます

● 寺学以外のモニター活用例

※2025年11月10日時点の内容であり、モニター貸与の内容は予告なく変更となる場合があります



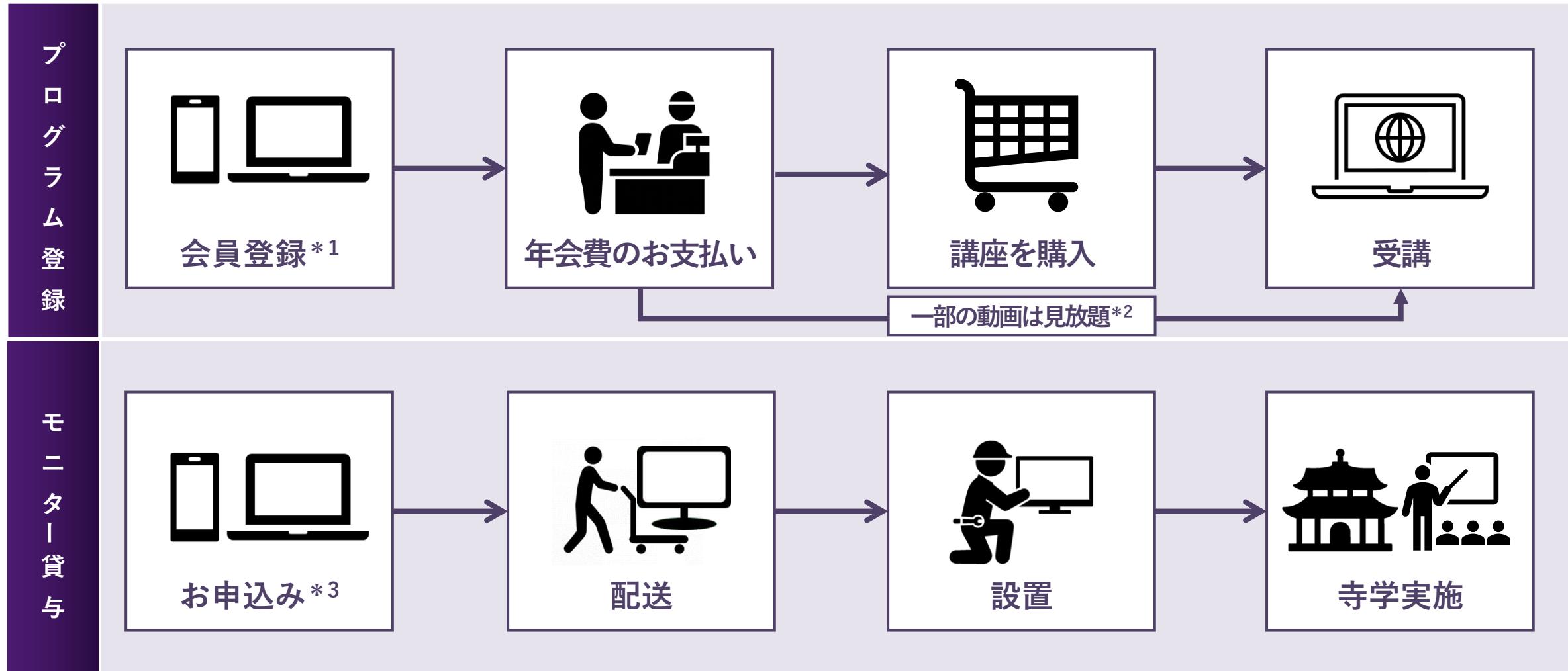
ディスプレイ

法事の合間の動画放映や地域の寄り合
いなどの資料の投影などディスプレ
イとして活用できます



デジタルサイネージ

季節ごとの行事やお寺で開催するイベ
ントの告知などで活用できます



*1: 専用WEBサイトの登録フォームよりご自身で必要事項を入力してご登録いただきます

*2: 所定の3つの講座は年会費のみで見放題となります

*3: お申込み方法から配送までの詳細な情報については別途ご案内いたします

料金などの詳しい内容のお問い合わせや
お申込みは下記までお気軽にご連絡ください

<お問い合わせ先>

- ・大正大学 理事長室 事業課
- ・メールアドレス：support_sdr@mail.tais.ac.jp



**MAKE
YOUR
UNIVERSE.**

一緒にだから つくれる世界を。